

情報収集 編

小学校・中学校学習指導要領解説総則編 (P50)

情報活用能力を具体的に捉えれば、**学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり**、情報を整理・比較したり、得られた情報を分かりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したり…。

教育の情報化に関する手引-追補版- (P16)

このような学習過程において、**情報収集し**、試行の繰り返しをして整理・分析し、情報共有を図り、表現をするといったあらゆる学習場面において、**ICT活用の特性・強みを生かすことが期待される。**

情報収集の手段としてコンピュータ等の利用が一層求められています。ICT機器を用いることで、情報を効果的に収集できる他、写真や動画、音声などを記録し、様々な形で活用することもできます。情報をどのように収集するといいいのか、適切な手段を選択する力がより重要となります。



インターネットを活用した情報収集

□ インターネットで情報収集



インターネット検索サイトを使うことで、学校にいながら、世界中の様々な情報に触れることができます。多くの情報を閲覧できるため、情報を判断する力がより重要となります。

画面に表示された情報を単に写すのではなく、取捨選択したり真偽を判断したりする中で、情報を適切に収集する力を高めていくことが大切です。

□ 専門家と双方向の学習



テレビ会議により、他の学校や専門家とのやり取りをリアルタイムで行うことができます。自分の考えや質問を伝えたり、専門家からより詳しい情報を得たりすることで、学習内容を深めることができます。

また、新型コロナウイルス感染対策における休校中には、学校と家庭をつないだオンライン授業を行う学校が増えました。ICTを活用することで、学びの形態も幅広くなります。

Column 情報の収集 = 資料を写すこと?

PISA2018の調査では、前回調査と比べ、テキストから情報を探し出す問題やテキストの質と信ぴょう性を評価する問題の正答率が低い結果となりました。情報を収集する活動は、多くの教科で行われていますが、とすれば資料を写すだけの活動に陥りがちです。複数の資料を見て、必要な情報を選択する力の育成も教科横断的に育成する必要があります。





写真を活用した情報収集

□ 朝顔の成長の様子



写真に記録することで、詳しく調べたり、比較したりすることができます。生活科の学校探検や動植物調べなど、低学年の学習でも写真を使った情報収集は非常に有効です。

写真を撮る際は、学習のねらいに沿って「対象のどこを撮影するのか」「どんな構図の写真にするといいのか」など、児童生徒が考えた上で撮影することが重要となります。



動画を活用した情報収集

□ インタビューを撮影



タブレットは簡単な操作で写真や動画を撮影することができます。また、携帯性に優れており、学校外の活動においても、情報収集のツールとして用いることができます。左の写真は、インタビューを動画で撮影している様子です。撮影した写真や動画の閲覧も簡単です。必要な情報を整理したり、発表で使用するプレゼンテーションの素材にしたりと、後の活動に生かすことができます。

□ 動きを客観的に把握



動画を用いることで、物事の動きや変化を客観的に把握することができます。体育では、自分の動きを撮影することで、技能の習熟に生かすことができます。理科では、実験の様子を撮影することで、物体の変化や動きなどを詳細に観察することができます。

再生速度を変えたり、二つの動画を並べて再生したりすることもできるため、細かい部分にも気づくことができます。

ICT活用に関する情報提供



熊本県教育センター
「ここからはじめる ICT 活用」

https://www.higo.ed.jp/center/jouhou/ict_katuyou



熊本県教育情報システム
<https://www.higo.ed.jp/colas/>

